

REGISTER NOW

27. Jan, 2022

横浜グローバルMICEフォーラム

The 3rd YOKOHAMA Global MICE Forum

– Reimagining the Destination of Choice for Business Events –

選ばれる開催地であるために

COVID-19の世界的な感染拡大により、多くの会議・イベントが中止・延期を強いられた2020年。その中でもオンライン会議システムや仮想空間を利用したバーチャル開催、ハイブリッド会議、XRの導入などが試みられ、今やMICEのランドスケープは一変しました。テクノロジーはこの先も、ビジネス・イベントのあり方、発展の可能性を豊かに広げていくはずですが、一方で、対面のコミュニケーションでしか実現することのできない価値があることも明らかです。

同時に、これからのMICEの復活・再生は、コロナ禍が浮き彫りにした様々な現代の課題を見つめなおし、克服しつつ、イベントの開催がより良い社会の実現に貢献することを目指し、進んでゆくべきと考えます。

そのような中で、MICE開催地への期待はどのように変化していくのか、MICEパートナーとして選ばれる存在であるにはどうあるべきか、日本と世界のMICEプロフェッショナル達が、現地会場とオンライン上に集い、MICEの未来について議論を交わします。



開催概要



開催日	2022年1月27日(木) ※開催後にラップアップ・ウェビナー(予定) ※開催後約1か月程度オンデマンド配信
開催形式	ハイブリッド (会場参加、オンライン参加 + オンデマンド配信)
会場	パシフィコ横浜ノース
登録料	10,000円(税込) ※学生無料
募集対象	2022年1月13日(木)まで予定 国内外のMICE関係者 (催事主催者・関係者、PCO、PEO、旅行代理店、MICE施設運営者・関係者、CVB、ホテル、自治体関係者、DMO、DMCなど)
募集人数	現地：約100名、オンライン：約100名
主催	パシフィコ横浜
共催	横浜市
後援	一般社団法人 日本コングレス・コンベンション・ビューロー (JCCB) 一般社団法人 日本コンベンション協会 (JCMA) 公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューロー
申込方法	ygmf.pacifico.co.jp よりお申し込みください

WHY ATTEND



MICEのグローバル・
トレンドを知る

イベント・テクノロジー、ハイブリッド会議のあり方、会議におけるSDGs、MICEプロフェッショナルの心得とMICEの現在を知り、主催者とWIN-WINの関係を築くための礎とします。



将来のパートナーとなる
ネットワークを構築

MICE業界のエキスパートである参加者たちと、フォーラムでの議論を通して緊密なネットワークを構築し、今後のビジネス機会を広げる将来のパートナーを発見しましょう。



世界の業界キーパーソン、
アソシエーションの声を
聴く

国内外の業界キーパーソン、アソシエーション・メンバー、会議主催者たちと直接の知己を得、そのリーダーシップから学が貴重な機会です。

PROGRAMME ※スケジュール・プログラムは予定です。

From	Ends	Function	Topic	Speaker	Contents / Key takeaway
9:30	-	受付			
10:00	- 11:00	Outside the Box [会場] [日本語のみ]	心を整える～座禅体験		情報の嵐に翻弄される脳と疲れた心を、会議の前にしなやかに整える。
11:00	- 12:00	大人のための プレ・カンファレンス講座 [会場] [日本語のみ]	世界計算力学会議 WCCM- APCOM YOKOHAMA 2022 編 ～計算力学って何を計算しているの?～	越塚 誠一 教授 (東京大学、WCCM-APCOM 2022議長) 寺田賢二郎 教授 (東北大学、WCCM-APCOM 2022事務局長) ほか	2022年7月に横浜で開催される第15回世界計算力学会議(WCCM-APCOM 2022)を前に、そもそも「計算力学ってどんな研究?」という素朴な疑問に答える、会議に親しむ素人のための講座。
12:00	- 13:00	[Lunch] [会場]	ランチ試食会		Powered by ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
13:00	- 13:10	オープニング [会場][オンライン]			
13:10	- 13:40	オープニングキーノート [会場][オンライン] [オンデマンド]			
13:40	- 13:45	[Mini break]			
13:45	- 14:45	セッション1 [会場][オンライン] [オンデマンド]	コロナ禍からの より良い復興をめざして	1. フランク・ヤン 氏 (ディレクター、コンベンション・マーケティング、KINTEX) 2. 井上 義則 氏 (株式会社八芳園 取締役社長)	[Risk Management][Meeting Design][SDGs] 対面での交わりでしか実現できない「リアル」な体験を実現するために、コロナ禍においても起こりうるリスクを想定しながら、イベントの舞台となる会場では様々な対策が試みられてきました。このセッションでは、主催者そして参加者に安全・安心を提供すると共にイベント参加の楽しさ・満足感を追求したグッド・プラクティスを紹介。
14:45	- 14:55	Pitch	施設の衛生管理	川村 育太郎 氏 (サクラインターナショナル株式会社 事業推進室 室長)	[Risk Management]
14:45	- 15:05	[Water Cooler Chat & Coffee Break]			
15:05	- 16:05	セッション2 [会場][オンライン] [オンデマンド]	アジア・パシフィックの MICEの未来 co-hosted by JCMA	1. ワイキン・ウオン 氏 (ICCAアジア・パシフィック事務局長) 2. ヒョイン・ソン 氏 (アシスタントマネージャー、コンベンション・マーケティング、KINTEX) 3. 武内 紀子 氏 (JCMA代表理事) 4. アシュウィン・グナセラン (ICCAアジア・パシフィック部会長、 パナコンパニオン&イベントソリューションCEO)	[Next Generation][Tech][Meeting Design] アジア・パシフィック地域におけるMICE復興に向けた最新動向を紹介。さらに、次世代が展覧するビジネス・イベントの未来を探る。
16:05	- 16:15	Pitch			ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
16:05	- 16:35	[Water Cooler Chat & Coffee Break]			
16:35	- 17:35	セッション3 [会場][オンライン] [オンデマンド]	選ばれる開催地であるために	1. 廣瀬 明 教授 (東京大学、IEEE IGARSS 2019 Yokohama組織・実行委員長) 2. カローラ・ファン・デル・ワーフ 氏 (COO & コンgress・ディレクター、国際薬剤師・薬学連合 [FIP])	[Destination][Partnership] 会議主催者はどのような期待をもって開催地を選ぶのか、開催地はいかにイノベーションを創出する交流のプラットフォームとしての役割を果たせるか、MICE開催が地域コミュニティに与える影響力について、アフターコロナの本格的なMICE再開を見据えて会議主催者と共に考える。
17:35	- 17:40	クロージング [会場][オンライン]			
17:40	- 18:30	レセプション [会場]			



パシフィコ横浜ノース

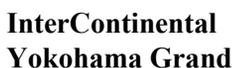
みなとみらい線 みなとみらい駅 2番出口より徒歩5分
JR横浜駅東口より連節バスバイサイドブルーで約17分
📍 パシフィコ横浜ノース
羽田空港から直通リムジンで約45分
📍 ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-2
パシフィコ横浜アクセスマップ ▶



Forum supporters



Forum partners





2004年に、韓国最大の展示会場KINTEXに入社以来、営業・マーケティング、展示会運営、営業開発などの分野で幅広い経験を積み、EIC (Events Industry Council) ナレッジ委員会委員、韓国国際MICE協会 (Korea MICE Association) 国際委員会委員を務める。
 近年では、安全なイベント開催のために実施された、感染症流行下における会場再開の革新的なフレームワークが評価され、2020年のICCA (国際会議協会) ベスト・マーケティング・アワードを受賞。2019年には、KINTEXで開催のゲーミングショー「PlayX4」で展開したインフルエンサー・キャンペーンによってUFI (国際見本市連盟) マーケティング・アワードを、また、ビジネスイベント業界への貢献が認められ、EIC (Events Industry Council) のPacesetter Awardを受賞するなど、韓国人として初めてこれらの賞を受賞したことで注目を集めている。

フランク・ヤン CMP, CEM, PMP, DES 氏 (韓国) Mr. Frank Yang
 ディレクター、コンベンション・マーケティング、KINTEX



2003年八芳園入社。年間挙式披露宴組数を1000組前後まで下げていた八芳園を、4年で2000組までV字回復させ、その後6年連続で達成。
 2008年 取締役常務総支配人、2013年 取締役専務総支配人を経て、2021年10月に取締役社長に就任。八芳園事業で培ってきたイベントのプロデュース力とクリエイティブ力を活かし、日本文化の継承と創造をテーマに、MICE産業へ参入。地方自治体と連携し「食」と「人」の交流事業のプロデュースを行うなど、八芳園施設外でのイベントプロデュース実績を着実に積み上げる。
 現在は、総合イベントプロデュース企業として、社会課題解決に貢献するため人の交流の場にDXを実装させ、リアル空間とデジタル空間を組み合わせたハイブリッド空間での新しい交流の未来創造に着手し、サステイナブルなホスピタリティサービスコンテンツ創造を指揮している。
 東京都DMO GATEWAY新品川 事務局長

井上 義則 氏
 株式会社八芳園 取締役社長

準備中

Photo

ワイキン・ウォン 氏 (マレーシア) Ms. Waikin Wong
 国際会議協会[ICCA]アジア・パシフィック事務局長



準備中

ヒョイン・ソン 氏 (韓国) Ms. Hyo-In Son
 アシスタントマネージャー、コンベンション・マーケティング
 KINTEX

Photo

アシュウィン・グナセケラン氏 (マレーシア) Mr. Ashwin Gunasekeran

ICCAアジア・パシフィック部会長

ペナン・コンベンション&エキシビション・ビューローCEO



大阪大学人間科学部卒業。1990年コングレ設立に参画。国際会議、博覧会、MICE施設、文化施設の営業などに携わり、2001年に取締役営業企画部長に就任。常務取締役、代表取締役専務を経て、2013年6月から現職。

2015年JCMA設立時から、代表理事、副代表理事等を務める。

一般社団法人日本経済団体連合会 審議委員会副議長・観光委員会委員長
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事

武内 紀子 氏

一般社団法人日本コンベンション協会 (JCMA) 代表理事、株式会社コングレ 代表取締役社長



1991年に東京大学で工学博士の学位を取得。1987年に東京大学先端科学技術研究センター(RCAST)・光デバイス分野・助手に着任、1991年に同センター・高速電子デバイス分野・講師となった。1993年から1995年まで、ボン大学神経情報研究所(ドイツ)の客員研究員(日本学術振興会・海外特別研究員)として研究を行った。1995年 東京大学先端科学技術研究センター助教授、1999年 同大学院新領域創成科学研究科基盤情報学専攻助教授を経て、2007年同大学院電気系工学専攻教授となり現在に至る。この間2006-2008年に宇宙航空開発研究機構(JAXA)宇宙科学研究所(ISAS)客員准教授を併任した。主にニューラルネットワークとワイヤレスエレクトロニクスを中心とする研究を行っている。この分野で、Complex-Valued Neural Networks, 2nd Edition (Springer 2012)、複素ニューラルネットワーク[第2版] (サイエンス社、SGCライブラリ 126、2016) などの単著、Complex-Valued Neural Networks: Theories and Applications, Ed. (World Scientific, 2003)、Complex-Valued Neural Networks: Advances and Applications, Ed. (IEEE Press / Wiley, 2013)、リザーブコンピューティング (2021、森北出版、田中剛平・中根了昌と共著) などの著書を発表した。

現在、IEEE Computational Intelligence Society (CIS) Neural Networks Technical Committee (NNTC) メンバー(2009-)、APNNA/APNNS 理事(2006-)、IEEE World Congress on Computational Intelligence (WCCI) 2024 Yokohama 組織・実行委員長などを務めている。IEEEフェロー、IEICEフェロー、JNNSおよび APNNSの会員。

廣瀬 明 教授

東京大学

IEEE IGARSS (International Geoscience and Remote Sensing Symposium) 2019 Yokohama組織・実行委員長



146か国の薬剤師・薬学研究者協会をたばねる世界的な連合体である国際薬剤師・薬学連合 (FIP) のCOOおよびコングレス・ディレクターを務め、組織の日常業務を監督し、内部プロセスを強化することで、非営利団体の成長とミッションの達成を支援する役割を担っている。

アムステルダム (オランダ) のHigher School of Economicsの国際ビジネス専攻を卒業、FIPに加わる前は、16年以上にわたりPCOとして従事。

AC Forum次期会長 (2022年1月22日に会長に就任予定)、オランダのプレ・ファイナンス&保証基金会長。PCMAより、2019年のGlobal Business Events Executive of the Yearに選出。

カロラ・ファン・デル・フーフ 氏 (オランダ) Mrs. Carola van der Hoeft

COO兼コングレス・ディレクター、国際薬学者・薬学連合[FIP]